

桜 宮 中 学

元気アップだより

H 2 8 年 9 月 号



充実の2学期にしよう！

体育大会・文化祭と取り組みがたくさんありますが、学業にもしっかり取り組みましょう！



《漢検・英検学習会》 9月30日（金）図書館にて

《検 定 試 験》 10月7日（金）英語検定試験
11月4日（金）漢字検定試験

今年度より漢字検定試験は全員受験となりました。国語の授業で「目安級診断プリント」にチャレンジし、自分の受ける級を決めて、9月21日までに申込書を提出してください。

十五夜

十五夜は旧暦の8月15日のお月見のこと。旧暦を新暦に置き換えて9月15日に十五夜の行事をする場合もありますが、正確には毎年9月中旬～10月上旬の間に旧暦の8月15日がやってきます。空が澄み渡るこの時期は月も美しいため、「ちゅうしゅうの名月」と呼ばれていますが、「仲秋の名月」「中秋の名月」と書き、漢字によって意味が違ってきます。

【仲秋の名月】

旧暦において秋とは7月・8月・9月をさし、さらに7月を初秋、8月を仲秋、9月を晩秋といいました。つまり仲秋とは8月の別称で、“仲秋の名月＝8月の名月”という意味になります。

【中秋の名月】

秋のちょうど真ん中の日を中秋といい、8月15日が中秋にあたります。そのため、“中秋の名月＝8月15日の名月”という意味になり、十五夜のときは中秋の名月と書く場合が多いのです。また、秋の収穫に感謝するお祭りでもあり、この時期収穫される里芋などの芋類をお供えするので「芋名月」ともいいます。

十五夜（旧暦8月15日）は必ず満月にあたるわけではありません。月と地球の公転軌道の関係で、新月から満月までの日数が14日間～16日間と日数に差があるから、1日または2日ずれることが多い。今年の十五夜は9月15日ですが、満月は9月の17日になるそうです。